



刊夕 行發日一十二月二

超高速の小説涉獵 九

赤井嶽男 輯録

素町人 島田竹の

(承前)

『お言葉ではございますが、それやア、些とお話しが違ふやうなものは一人として、決して押借りゆすりをするやうなものは一八とし

小月の哀傷 宮澤 潔久

十月日 雲は白く

ぬれぬに 小指みつめて

乙女 ひびり

解けゆく雪 北見晴雪

降る降る雪がサラサラと

裏の小山は真白だ

えぞ松塔に綿帽子

降つて積つた銀の雪

表品に擴つて

キラキラと光つてる

淡雪粉雪の雪

花吹雪にや消えてゆく

娘心も解けてゆく

一三一、二、一六一

今にも飛びかゝりさうな

勢を、したので、飽くまで

事秘儀に濟まざるに仙五郎

右手で金次を遮り向ももの

柔かに説いた。すると其

際を見済ました軍十郎は、

だしぬけに刃を抜くが早い

か仙五郎目掛けて斬りつけ

た。

仙五郎は軍十郎の手に抜

刀が閃いたとみると、素早

威猛高になつて。

供の時間)お話(雑誌の

出来るまで)テキスト二

〇ページ 水産試験場技

師木村金太郎

△一〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇

修養講座(私の欲望)菅

原時保 △一〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇

講演(自然界の見方と因

果律)大阪工大教授理學

博士田中晋輔

△九、一〇九、三〇〇、〇〇〇

料理(わざま)榮養研究所

博士田中晋輔

△九、一〇九、三〇〇、〇〇〇

料理(わざま)榮養研究所

博士田中晋輔

△九、一〇九、三〇〇、〇〇〇

料理(わざま)榮養研究所

博士田中晋輔

拈華微笑 丈けは●●手が 物と行訴の判決 無入が押し負 一石二鳥の電氣 町営業しつかり 講習生の採用率 買ひ手の無いが 普通の日々 花時の選挙は禁 只三人連れなのでございませぬ 只三人連れなのでございませぬ



元禄名妓傳 小邑 井小邑 第四席 (宮野恒彦書) 向島来て見ると、空合の悪い 賑ひは格別で、空合の悪い

貸切自動車の御用命は 尼子タクシーへ 新型セダンで乗心地の良い 電六四〇番

神戸牛のこのけの 優秀清新の 牛肉大値下 神戶牛のこのけの 優秀清新の 牛肉大値下

度量衡計量器 吸入用酸素素 吸入用酸素素 吸入用酸素素

債権債務の整理引受 品代金の取立て及貸金の取立 全国各地の取立ても引受

耳鼻咽喉科専門 合津醫院 平町田町七一 電話五五九

合津乗合開通 二月一日ヨリ 平 發 下市萱發 午前六時 午前八時半

急告 撞球臺(附屬品付) 安價に賣りたし 委細面談 平町白銀町 高木 喬

厳冬征服の王者 ストープハ フクロク、ストープ

阿部石炭商店 電話一三七番

生花教授 池坊流 生花を懇切丁寧に御教授いたし 須藤まつ子の

高久病院 内科 外科 小児科 耳鼻咽喉科

高久病院 内科 外科 小児科 耳鼻咽喉科

